

生協 10 の基本ケアニュース

2023/9/20 23年度 NO. 4



毎月 10 日の『10 ケアの日』。今後も引き続き、ご協力をお願い致します。

「ターミナルケアをする」の項目の取り組みとして、2家族様と一緒に「もしばなカード」を実施しました。認知症の利用者さまでしたが、長い時間をかけてカードを選ぶことができ、ご家族からもそんなことを考えていたのねと認識が変わっている様子がありました。先日体調の急変もあったため、診療所にもご本人・家族の最期の迎え方の希望をお伝えし、好評でした。**(大井協同診療所)**



今月で3か月の通所C事業も終わりです。通所Cの事業終了後も参加者の方々が、ご自宅に閉じこもることなく何か地域の活動につながる事ができないか、プロジェクト会議で話し合いました。プロジェクト委員だけでなく、市役所福祉課、地域包括支援センターのご協力を得て、通所Cの卒業後は、新たに100歳体操の立ち上げ、オレンジカフェの参加など、地域の通いの場参加へつなぐことができそうです。**(行田協立診療所)**

定期巡回で介入している T 様84歳 女性。左股関節、左膝関節に OPE 歴あり。1年以上の入所で、廃用症候群による ADL 低下が著明でしたが、本人の「自宅に帰りたい」希望で在宅生活を再開しています。股関節の屈曲による痛みがあり、仙骨座りになることが多く、食事でのむせが増えてきていた。その原因は姿勢にあると着目し、誤嚥性肺炎防止、生活リハビリの視点で第2章の「床に足をつけて座る」から、正しい座位姿勢を職員全員で共有し実践しました。この写真を活用してヘルパー同士で共有しています。正しい姿勢で過ごすことで、表情が良くなり会話を楽しみ、またむせもなく自力でしっかり食事を楽しむことができます。現在は、テーブルを利用しおじぎ体操を1日2回実施しています。**(CC きょうどう)**

先月より一章ずつ、部門ごとに学習することに決めて、開始しました。9月は2章に取り組んでいます。居宅は部会で、ヘルパーさんは登録さんまで参加するヘルパー会議で順次学習しています。**(こだま)**

9/11～9/16まで、第4章「温かい食事をする」について朝会にて読み合わせを行っています。桂の樹では毎月『調理給食』の日があり、調理部会でメニューを決めて入居者様と一緒に食事を作っています。**(桂の樹)**

CCきょうどう いぶき

生協10の基本ケア 第2章「床に足をつけて座る」

仙骨すわりの状態
テーブルに手をつき 足底を床につけ おじぎ体操
正しい座位
背もたれから背中が離れる 正しい姿勢 (お食事)
テーブルは肘より少し下の高さへ！ 食事の際のテーブルは、体からこぶし1個分離す
バスタオル3つ折りを 肩甲骨あたりに入れる



裏面に続きます

ちちぶ10ケア通信 No. 3
2023年9月 株式会社協病院
生協10の基本ケア推進委員会発行

医療生協さんでは毎月10日を「10ケアの日」として発信し、各事業所で生協10の基本ケアの取り組みを進めています。当委員会では、今年度より毎月10日を「ちちぶ10ケア通信」として院内へ情報発信していく予定です。内容は各職場で共有し、生協10の基本ケアの実践につなげていきたいと思います。

① 尊厳を護る ② 自立を支援 ③ 在宅を支援

委員会内で事例検討をしました

療養病棟：残存機能を活かす声掛けの大切さ

A5のADLは全介助、発語ほとんどなく、私生活の長い100代の男性。経営栄養で介助は、主に入浴と排泄時に限る。ケアは全介助で提供していたが、ある体位交換時の事、協力動作を求め声掛けをする、指先で物を握らうとしてくれた。その手を握り握めるように介助すると、自らの力で体交する事ができた。また、膝を立てる介助を「お尻をあげてください」と声掛けすると、少し出来た。声掛けで出来ることの発見にスタッフ皆驚き、嬉しそうに褒め、以後、他スタッフと情報を共有し、ケア時には声掛けする事を徹底した。すると、少しずつ体に力が入るようになり、自ら進んで協力動作を行ってくれるようになった。療養病棟は全介助の患者さんが多く、つい手伝わってしまう事が多かった。積極的に声掛けを行うと、患者さんの残存機能に気づかれ、出来る事が少しずつ増えていく。結果、自立支援に繋がると再認識した。

委員会での意見：将来的に在宅に繋げられる患者さんかもしれないので、家族から連絡等の情報も得ながら、出来ることを増やすす声掛けを続けていきたいと思います。

後日、退院し8月より、患者さんに整髪の手渡り事で、自らスイッチを押して、髪が剃れるという情報を得られた。早速、スタッフ間で情報を共有し、整髪器を全介助で提供するのはなく、髪を剃り切れない部分の手伝いのみを行うようにした。引き続き声掛けを大切にしながら出来ることを見つけていく。

2023年度 基礎研修予定 (定員各20名)					
8/29 (木)	9/7 (水)	10/24 (水)	11/7 (水)	1/10 (月)	1/18 (日)
老健 みゆま	熊谷 生協病院	老健 みゆま	老健 さんとの	老健 みゆま	熊谷 生協病院
				老健 みゆま	老健 さんとの

デイケア
くまこ9月号

《短期集中リハビリテーション加算》
退院・退所後、3ヶ月間集中的にリハビリテーションを実施する加算です。個別訓練にて対応します。条件では要介護の方で週2回以上のご利用が条件となります。

☆利用者様の紹介☆
○80代 男性
転倒にて左大腿骨頸部骨折受傷。手術実施し、退院後デイケア利用開始
HOPE：杖で歩けるようになりたい。

デイケア利用開始から3か月後

ADLの変化点
・食事：刻み食から常食へ形態UP (ST、歯科衛生士、栄養士が協働し、食事形態の評価も実施しています。食事量も上がり体重も増量しました！)
・移動：杖歩行で自立 入浴：機械浴から個別浴へ
パーセレンテックスでは**1.0点UP!**

身体計測の結果
・握力 右20.3Kg→23.4Kg
左12.0Kg→14.5Kg
・TUG 27.5秒→18.3秒

妻と一緒に買い物に行けるようになりました！もともと好きだったDIYも再開し、できることが増えました。来年は庭作業を再開したい！

デイケアにてリハビリを実践し杖歩行見守りから歩行自立、機械浴から個浴に入ることができるようになりました。リハビリ中でも段差昇降が行えたこと、エルボが行えるようになったことなど涙を流して喜びの報告をして頂くことができました。現場職員も個別ケアについてやりがいを感じながらケアの提供が行えております。**(くまこ)**



買い物リハビリを目的として地域での買い物を行ってきました。興味関心シートで一人での買い物を希望されている方をメインとして実践しました。自信に繋がった、いくつになっても新しい事に挑戦できるなど様々なご意見を頂くことができました。**(熊谷生協通所)**



巡視報告 (8/25 実施)

(CC うらしん)

- ・4 部門での事例検討を進めるために各部門からの取り組み報告を集約していますが、一覧表を作成・共有フォルダーに保存し、各部門の担当者がいつでも入力できるように工夫しているところが良かったです。
- ・居宅、訪看、訪介の3部門で支援している事例は、併用している訪介(他法人)も一緒に取り組めるよう発信してみてください。
- ・デイサービスでは、利用開始時に下腿長を確認し、利用者に合わせた椅子の提供をされているとのことで、徹底できている印象を受けました。食事前の立ち上がり、嚥下体操も直接、食事動作に繋がるため良かったと思いました。
(生協10の基本ケア委員会:河野、小塚、渡邊)

(CC きょうどう)

全部門で10ケアを計画書へ入れて、どんなプランをいれたのか、誰もが一目でわかるように可視化されていました。また、実践が管理者や委員を中心におすすめされていました。講師を増やすための計画(研修参加など)しっかり考え得られており、研修学習後の効果測定もあり、とても素晴らしいと思いました。また、みぬま入所した時には退所前だけではなく、2週間カンファにもケアマネが参加し、一緒に施設計画を考える取り組みも4月から始まり、法人内の連携の良さも感じました。引き続き、介護事業所群の10ケア率先事業所として期待しています。
(生協10の基本ケア委員会:内田、木伏、増戸)



HPに移動します



生協10の基本ケア委員会